

流域治水プロジェクト推進を担う施工技術等 ⑥

狭隘な現場での回転鋼管杭の打設

- 夜間施工で出水期までに耐震補強を完了 -

- 工事名
伝法陸閘(左岸)他耐震対策工事
- 施工者
株式会社 森 組
- 施工箇所
(自)大阪府大阪市此花区伝法3丁目地先
(至)大阪府大阪市福島区海老江8丁目地先
- 発注者
近畿地方整備局 淀川河川事務所



<工事概要>

淀川左岸の『伝法陸閘』及び『淀川陸閘』において既設陸閘基礎地盤の地震時の液状化を防止等の耐震補強整備を推進するもので、淀川陸閘においては、狭隘な現場で新技術を活用し鋼管杭を打設しました。

・既製杭工- 鋼管杭 $\phi 700$ L=24m N=7本 ・地盤改良工- $\phi 3.5m \sim \phi 6.0m$ L=11.0~12.1m N=21本

<技術の特徴>

スーパードライバー工法(NETIS登録:KK-160055-A)は、従来の3点式杭打機では回転トルク不足により施工不可能であった回転鋼管杭に対し、3点式杭打機の回転トルクを増強することにより、全周回転式掘削機では施工が困難な狭隘な現場での回転鋼管杭の施工を可能とした工法です。

回転鋼管杭の施工は、一般に全周回転式掘削機で施工するが、狭隘な現場では困難

従来の3点式杭打機では回転鋼管杭打設時の回転トルクが不足して施工不可能

スーパードライバー工法は3点式杭打機の回転トルクを増強し、狭隘な現場や低空頭の現場での回転鋼管杭の施工を可能とした工法

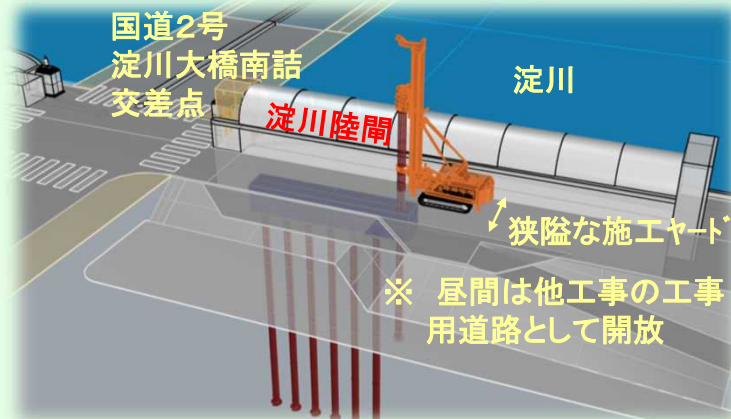
特長

隣接施工が可能

高トルク

自走式

低空頭
狭隘地に最適



現場状況概要



本現場での施工状況(夜間工事)